

3類型	農林水産物	通巻番号	3-29-306
地域資源名	ぶどう	認定日	平成29年10月13日
地域	山梨県山梨市	所管省庁	財務省、農林水産省、 経済産業省

事業名：山梨市牧丘地区の巨峰と山梨で栽培したイタリア品種のぶどうを活かしたワインの開発・販売

会社名：株式会社Cantina Hiro
 (法人番号8090001014470)
 連絡先：TEL：0553-35-5555
 FAX：0553-35-5788

所在地：山梨県山梨市牧丘町倉科7143番地

H P： <https://www.cantina-hiro.jp/>

事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源であるぶどうの中でも、生食用ならびに醸造用の品種は、蓄積されたノウハウや栽培技術を活かして棚栽培されることにより、色、味ともに優れたものになる。こうしたぶどうの特徴と、牧丘地区のテロワールを活かして、巨峰スパークリングワインと、同地区で栽培したイタリア品種ぶどうのワインを開発・販売する。本事業により、巨峰とワインの産地とする活性化に寄与するとともに、耕作放棄地の減少、雇用拡大など、地域への波及効果が期待される。



【地域産業資源ぶどう】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

国産ぶどうのみを原料とした「日本ワイン」の市場が拡大しており、地域のぶどうやその土地のテロワールを活かした小規模ワイナリーによるこだわりのワインが人気となっている。また、スパークリングワインの市場は拡大しており、十分な市場性が見込まれる。



【自社農園を見下ろすワイナリーからの景観】

◆需要の開拓の方針

巨峰スパークリングワインは主に20～40歳代の女性をターゲットとし、山梨で栽培したイタリア品種ぶどうの日本ワインについては、イタリアワインを好む層や、イタリアンレストランをターゲットとして、需要を開拓する。

◆商品の特性

巨峰スパークリングワインは、牧丘地区の高品質の巨峰を活かした巨峰本来の鮮やかな色合いと香り特徴とするワインであり、優位性がある。また、イタリア品種ぶどうの日本ワインは、市場に出回っていないため、本事業で開発することにより、イタリア料理にあう日本ワインとして十分に競争力がある。



【試作品(イメージ)】

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

地域産業資源ぶどうの安定調達の観点から、ぶどう栽培者との連携体制を構築する。ふるさと名物応援宣言をしている山梨市や山梨市商工会、小売事業者等と連携し、地域を挙げてブランド化と、域外への販路開拓に取り組んでいく。